

会 議 録

会議名 (審議会等名)	平成27年度第2回小金井市奨学資金運営委員会		
事務局事務 (担当課)	小金井市教育委員会学校教育部庶務課		
開催日時	平成27年10月30日(金) 午後3時00分から午後3時45分まで		
開催場所	小金井市役所第二庁舎801会議室		
出席委員	鮎川委員長、佐藤委員長職務代理者、福元委員、末松委員、 齊藤委員、坂本委員、塚田委員		
欠席委員	不破委員		
事務局	川合学校教育部長、河田庶務課長、中島庶務係長、松下庶務 係主任		
傍聴の可否	可	傍聴者数	0人
傍聴不可・一 部不可の場 合はその理 由			
会議次第	1 平成27年度奨学生及び奨学資金の運営状況について 2 平成28年度奨学資金の運営について 3 その他		
会議結果	1 平成27年度奨学生及び奨学資金の運営状況について 事務局より次の事項について報告した。 (1) 選定結果 (2) 辞退結果 2 平成28年度奨学資金の運営について (1) 事務局より次の事項について配布資料に基づき説明 ア 平成27年度26市奨学資金制度について イ 過去10年の小金井市奨学資金支給状況 ウ 都立高等学校授業料の推移		

- エ 平成27年度奨学生選定各評価基準等
- オ 平成28年度小金井市奨学資金の運営について
- カ 過去3年の奨学資金制度の改正点
- キ 高等学校等就学支援金について
- ク 小金井市の財政状況等

(2) 平成28年度奨学資金の運営について（諮問案）

- ア 本市の財政状況や他市の動向を踏まえたうえで、本市の奨学資金のあり方を熟慮し、次年度も引き続き前年度と同様の運用とする。
- イ 上記（ア）を踏まえ、支給単価についても、高校生及び高等専門学校生は一人当たり5,300円、大学生及び高等専門学校生は一人当たり12,200円とする。
- ウ 奨学生の選定についても、別紙「奨学生選定各評価基準」に基づく選考とする。

(3) 委員意見等

- ・ 外的要因に因らずに、小金井市の制度として子どもを支援するという姿勢を見せ、是非この制度を存続させてほしい。歴史のあるこの制度を存続させるべきだ。
- ・ 金額・人数を少なくしても給付を続けてほしい。
- ・ 一回やめてしまったらなかなか制度の復活は難しい。
- ・ 市長も議会も教育に熱心であるので、委員会として制度の存続をしていきたい。
- ・ 来年度も今年並みの方向でいいと思います。
- ・ 財政効率を短期的に考えずに長期的に考えて、制度の継続をしたほうがいい。
- ・ いろいろな家庭を見てきているが、現実はとても厳しいので制度を存続させてほしい。教育は最大の投資である。
- ・ 高等学校の授業料の無償化で多くの市が制度の廃止をしていますが、小金井市は存続してくれた。教育をととても大切にしている市であると思う。今後も制

	<p>度の存続をお願いしたい。</p> <p>(4) 平成28年度奨学資金の運営について（答申案）</p> <p>ア 本市の財政状況や他市の動向を踏まえたうえで、本市の奨学資金のあり方を熟慮し、次年度も引き続き前年度と同様の運用とする。</p> <p>イ 上記（ア）を踏まえ、支給単価についても、高校生及び高等専門学校生は一人当たり5,300円、大学生及び高等専門学校生は一人当たり12,200円とする。</p> <p>ウ 奨学生の選定についても、別紙「奨学生選定各評価基準」に基づく選考とする。</p>
<p>提出資料</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 小金井市奨学資金運営委員会委員名簿 2 平成27年度26市奨学資金制度について 3 過去10年の小金井市奨学資金支給状況 4 都立高等学校授業料の推移 5 平成27年度奨学生選定各評価基準等 6 平成28年度小金井市奨学資金の運営について 7 過去3年の奨学資金制度の改正点 8 高等学校等就学支援金について 9 小金井市の財政状況等